



森の楽校だより

VOL. 11

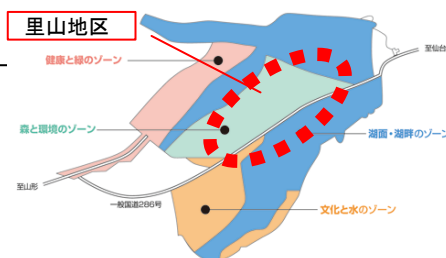


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成24年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



9月1日（土）曇り

板の製材、皮剥き

秋の気配を感じる1日でした。

まだまだ、暑い日が続いていますが、午後の日差しに秋の気配を感じられる1日でした。



今日の昼食

昼食は自然共生園でとれた野菜を使った豆ご飯に味噌汁、トマト、ナスの漬物でした。今回もデッキに集まり楽しくいただきました。



板の製材

ツリーハウスを完成させるためには、これからまだまだ板材が必要になるため、板の製材と皮剥きを急ピッチで進めています



木材の加工

切り出した木材はそのままでは使うことはできません。板に製材したり、皮を剥き、必要な長さに切ったり、このような作業を行いながら、ツリーハウスづくりは進んでいます。



林床植物の特徴

林床に育つ植物の特徴の1つとして、葉を大きく広げたものがよく見られます。これは樹木に遮られ、わずかにしか届かない日光を効率よく受けるための形です。

右の植物はいずれもモミジやトチノキのような葉をもつことからこのような和名がついています。



モミジガサ



トチバニンジン

晩夏から初秋にかけての草

今年は初秋に咲く花の開花が例年よりやや早いようです。

そのため、夏の終わりに咲く花と秋の初めに咲く花が同時に見ることができます。

そのため里山は春にも負けないくらいにぎやかです。



ツルリンドウ



キバナアキギリ



ヌスビトハギ



ミゾソバ



オクモミジハグマ



キツネノカミソリ